

第二期調布市空き家等対策計画(素案)に対するパブリック・コメントの実施結果

【パブリック・コメント手続の実施概要】

1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 令和4年12月20日(火)～令和5年1月19日(木)
- (2) 周知方法 令和4年12月20日号市報及び市ホームページ
- (3) 資料の閲覧場所 市役所7階住宅課, 公文書資料室, 神代出張所, みんなの広場(たづくり11階), 市民活動支援センター(市民プラザあくろす2階), 各図書館(染地除く)・各公民館・各地域福祉センター(染地除く), 教育会館1階
- (4) 意見の提出方法 氏名, 住所, 御意見を記入し, 直接又は郵送, FAX, Eメールで市役所住宅課まで提出
※資料の閲覧場所に設置する意見提出箱への提出も可

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出件数: 6件(2人)

<提出意見の内訳>

全般に対する意見	6件
第1章「計画概要」に対する意見	0件
第2章「これまでの調布市の空き家対策」に対する意見	0件
第3章「調布市の空き家等対策」に対する意見	0件
第4章「空き家等の取組の進め方」に対する意見	0件

- (2) 意見の概要と意見に対する市の考え方 別紙のとおり

【意見の概要と意見に対する市の考え方】

全般

項目	No	御意見の概要	市の考え方
全般	1	<p>「具体的な取り組みの展開」が当該計画なののでしょうか？ 概要版には「事業」として記されており、PDCAサイクルのPLAN（計画）に当たる部分をはっきりさせないと、DoもCheckも行えないように思います。「本計画を着実に推進していきます。」の具体的な計画が見えないからPDCAの具体性が見えないです。</p> <p>それとも「実施体制イメージ図」に記されている「プラットフォームの構築に向けた取り組み事例の蓄積」の流れからみれば「プラットフォームの構築」が当該計画なのかとも思われます。</p>	<p>当該計画は「具体的な取組の展開」です。ご指摘の「事業」は、「具体的な取組の展開」の内容であることから、タイトルを「具体的な取組の展開」に修正いたします。</p> <p>第二期計画においては、市がコンシェルジュとして様々な取組を実施し、取組事例を蓄積して「プラットフォーム」の構築を目指します。</p>
全般	2	<p>概要版を見ると、第1章の計画概要には、どんな計画なのか書かれていません。その後、第2章はこれまでの対策、第3章が、調布市の空き家等対策計画と書かれていてほしいところです。ですがこの事業には具体的な到達目標がほとんどなく、PDCAサイクル（進捗管理）には不向きなものが多いように思います。</p> <p>もし「具体的な取り組みの展開」が評価して改善していく計画に当たるのであれば、その内容が今までに行われているもの（良い活動だと感じています）が多く含まれています。そのDoをどう評価していたのかが気になります。例えば「流通促進に向けた旧耐震建築物の除却」を計画とした場合、市民が理解、同意できる評価の到達目標はあるのでしょうか？ それとも「事業」として一つでも除却できれば「済」という評価にするのでしょうか。</p> <p>評価に向き合う計画は何か示す必要があり、その場合、評価の指標も考えておく必要があります。痛みを伴うが、やらなければならないコトは何か、専門家の皆さんの意見を聞いて計画として明記していただけるとありがたいです。</p>	<p>素案の9ページでこれまでの取組を整理し、その評価を12、13ページで達成状況と成果と課題をまとめております。この課題の解決に向けた取組が16ページ以降の「具体的な取組の展開」となります。今後は各取組の展開の進捗について評価してまいります。</p> <p>第4章の計画の「進捗管理」について、ご指摘のとおり、変化していく社会情勢や空き家の状況に対し、PDCAサイクルには不向きなものが多いと感じます。頂いたご意見を参考に、各取組に関しては、迅速な意思決定が可能なOODAの考え方を取り入れることで適切な取組を展開し、前期、後期等の節目のタイミングで、計画全体についてPDCAサイクルによる進捗管理を行う形に修正いたします。</p>
全般	3	<p>市は積極的に空き家や跡地を公的に活用すること（子育て世代から高齢者世代までの地域コミュニティの場、デイサービスなど。遊び場、広場、緑地など）を盛り込むこと。</p> <p>少子高齢化による都市の空洞化は、スポンジ状に進むので、地域の縮小（コンパクトシティ）は容易でないが、逆に、地域の中にばらばらとスポンジ状に空いた空間を地域コミュニティの場等に活用するのに適している。</p> <p>他の福祉計画や緑化計画においても、空き家や跡地を積極的に取り込む施策を加えるべきである。</p>	<p>実施目標4において、「調布利活用モデルの確立」を掲げています。頂いたご意見を参考とさせていただき、調布市の特性を活かした利活用を進めるための取組を進めて参ります。</p>
全般	4	<p>調布市の計画全般に共通する無駄であるが、相変わらず、中身が伴わない、計画だけは立派である。実施計画に的を絞ったスリムな計画や効果的・効率的なものにすべきである。</p>	<p>第二期計画では、これまでの取組を整理し、課題解決への具体的な取組の展開を実施計画として位置付けています。頂いたご意見を参考とさせていただき、計画の実現に努めて参ります。</p>
全般	5	<p>2020年第一期について、どういう計画・目標を立てたか（P）、具体的実施内容（D）、結果の評価（C）が何であったか、そしてそれらをもとに今回の第二期計画（A=P2）につながっているかの全体が一目で見えるように示すこと。</p> <p>今回の概要版（素案）は、単に抽象的な「理念」「実施目標」「事業」についての「机上の作文」に過ぎず、具体的、定量的に、測定できるような中身になっていない。作り直したほうが良い。</p>	<p>素案（12・13頁）では、第一期計画の達成状況と課題を整理し、課題解決への具体的な取組の展開を実施計画として位置付けています。</p> <p>概要版については、計画の全体像を把握していただくためにポイントを絞ってまとめています。</p>
全般	6	<p>第一期においてこの計画にどれくらいの費用を調布市として投入したのか、その結果、どの程度の便益が得られたのか示すこと。また、第二期においても、どれくらいの費用を投入するのか、どれくらいの便益を期待するのか示すこと。必ずしも金額換算できるものに限らない。</p>	<p>空き家等に関する取組は多岐に渡ることから、ご指摘の通り一概に金額では測れないものと考えます。素案では、第一期計画の達成状況と課題を整理（12・13頁）しており、第二期計画では、この課題を解決する取組を行って参ります。</p> <p>また、空き家等の市場流通や利活用は、市民及び空き家等所有者をはじめ、様々な主体の協力なしでは進めることができないことから、第二期計画では、各主体（市、関係団体、空き家等所有者、市民）の役割を明確にし、調布市として必要な費用を投入していく予定です。</p>

※御意見は、原則、いただいた原文を基に掲載しています。